

貸借対照表

2020年3月31日現在

旭化成設計株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
	円		円
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	(90,072,074)
流 動 資 産	770,072,600	流 動 負 債	90,072,074
売 掛 金	71,511,320	未 払 金	48,062,338
仕 掛 品	4,465,339	預 り 金	374,308
前 払 費 用	0	未 払 費 用	13,305,928
未 収 入 金	1,664	未 払 住 民 税 及 び 事 業 税	9,699,200
短 期 貸 付 金	694,094,277	未 払 消 費 税 等	7,872,300
繰 延 税 金 資 産	0	賞 与 引 当 金	10,758,000
固 定 資 産	21,438,410		
有 形 固 定 資 産	2,546,629	(純 資 産 の 部)	(701,438,936)
建 物 付 属 設 備	1,779,960	株 主 資 本	701,438,936
器 具 及 び 備 品	766,669	資 本 金	30,000,000
無 形 固 定 資 産	1,442,700	利 益 剰 余 金	671,438,936
施 設 利 用 権	0	繰 越 利 益 剰 余 金	671,438,936
ソ フ ト ウ ェ ア	1,297,100		
電 話 加 入 権	145,600	(うち、当期純利益)	(118,558,954)
投 資 そ の 他 の 資 産	17,449,081		
繰 延 税 金 資 産	7,120,000		
差 入 保 証 金	10,329,081		
資 産 合 計	791,511,010	負 債 ・ 純 資 産 合 計	791,511,010

個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）
 - 定額法
 - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）
 - ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法
 - その他の無形固定資産は定額法
 - (3) リース資産
 - 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
 - リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
 - なお、リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が企業会計基準第13号「リース取引に関する会計基準」の適用初年度開始前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
2. 引当金の計上基準
 - (1) 賞与引当金.....賞与の支給に充てるため、当期に負担すべき支給見込額を計上している。
3. 消費税等の会計処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。
4. 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用している。
5. 連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用

当社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計に関する取扱い」(実務対応報告第39号)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針28号)第44項の定めを摘要せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいています。

(会計方針の変更に関する注記)

1. 有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法の変更

従来、当社は、有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却方法について、主として定率法を採用していたが、当事業年度より定額法に変更している。この変更は、当社の親会社である旭化成株式会社が有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更することを契機として、有形固定資産の償却方法の検討を行った結果、当社の有形固定資産は、長期的かつ安定的に稼働し、当社の安定的な収益の獲得に貢献することが見込まれることから、有形固定資産の減価償却方法として定額法を採用することが、有形固定資産の使用実態をより適切に反映する費用配分方式となるとともに、当社より適切な業績管理に資すると判断したことによるものである。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当事業年度の営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ303千円増加している。

(表示方法の変更に関する注記)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改訂」の適用に伴う繰延税金資産・負債の表示方法の変更
 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改訂」(企業会計基準第28号)を当事業年度より適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示している。

(誤謬の訂正に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当該事業年度の末日における発行済み株式の総数
 - 普通株式 60,000株
2. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。
3. 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

属性	会社名	当該関連当事者の議決権等の所有割合	勘定科目	期末残高(円)
親会社	旭化成(株)	100%	未払金	39,305,785
			短期貸付金	694,094,277
	旭化成ホームズ(株)	100%	売掛金	68,761,320
			差入保証金	10,329,081

(資産除去債務に関する注記)

該当事項はありません。